

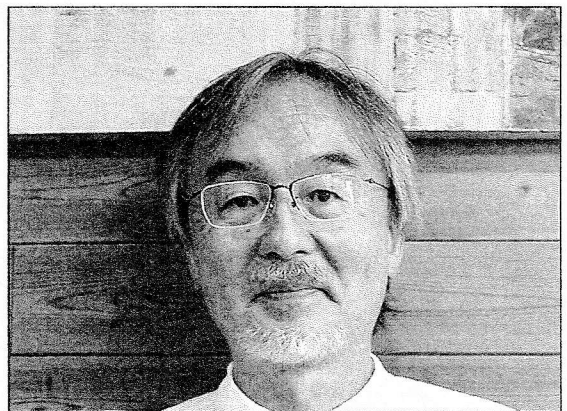
# 歴史講演会

## 『「大山地誌調書上」に記録された大山の現状』

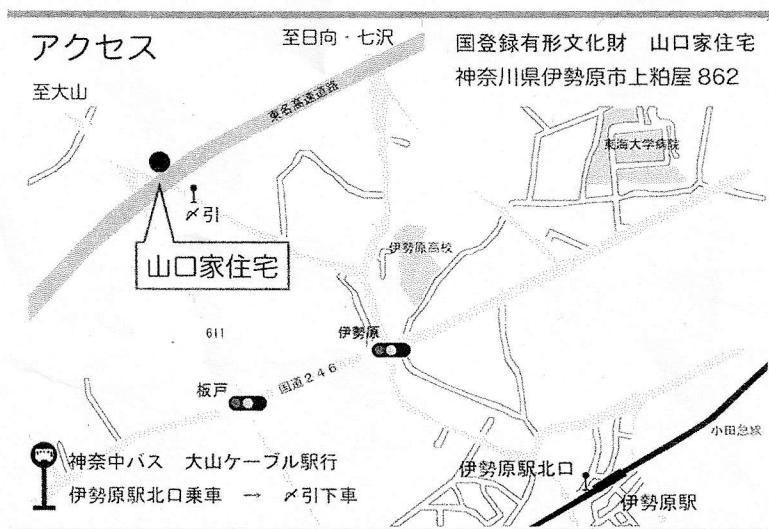
天保6年(1835)にまとめられた地誌「大山地誌調書上」が、東京大学史料編纂所に所蔵されていました。この地誌は、天保12年(1835)にまとめられた「新編相模国風土記稿」の元になったと城川先生が考えられています。

この講演では、城川先生が「地誌」をとおして江戸時代末の「大山の現状」について、わかりやすく解説します。

- 1 日時** 令和6年3月17日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで  
(受付開始 午後1時00分)
- 2 場所** 国登録有形文化財 山口家住宅  
伊勢原市上粕屋 862(地図参照)
- 3 会場定員** 定員40名、当日受付順
- 4 講師** 城川隆生  
日本山岳修験学会評議員、  
相模国霊場研究会、  
元神奈川県立高等学校教諭、  
万象房代表
- 5 問合せ** 公益財団法人雨岳文庫  
伊勢原市上粕屋 862  
電話 0463-95-0002、090-6560-1576 諏訪間(午後6時以降)



講師 城川隆生氏



会場案内図



令和5年度地域文化財  
総合活用推進事業